

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	41201
----------	-------

1. 開設大学	福山平成大学 経営学部		開催方法 (キャンパス・施設)		■ 対面 (本学)	
					□ オンライン (同時・録画)	
2. 科目名	高校生のためのやさしい (けど大切な) 「マネジメント入門」					
	学問分野	番号	24	名称	経営学	
3. 担当教員	小川 長 経営学部経営学科					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 10 月 24 日 (土) ~ 令和 8 年 10 月 24 日 (土)					
開講時間	12 時 30 分 ~ 15 時 30 分 (分 × 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	30 人 (受入学年 :)					
6. 科目内容・授業計画	<p>みなさんは、「マネジメント」という言葉を聞いたことがありますか？ 手元の AI に聞いてみると、「マネジメントとは、組織の目標達成に向けて、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を効率的に活用し、成果を最大化する仕組みや機能のこと」と書かれています。どうでしょうか？ 何だか難しそうですが…でも大丈夫です。授業の中で、みなさんがバッチリ分かるようにお話しします。</p> <p>実は、マネジメント「management」という英語を日本語に翻訳しようとする、なかなか一言でピッタリ当てはまる言葉がないのです。だから、カタカナで「マネジメント」とされていることが多いのです。では、それはなぜかと言うと、この言葉が多くのニュアンス (意味合い) を持っているからだと言えます。</p> <p>例えば、まさに今使った日本語の「持つ」という言葉も、「家を持っている」と言えば、家を「所有している」ことですし、「荷物を持っている」と言えば、荷物を「手に掲げている」ことですし、「子供を持っている」と言えば、子供が「いる」ということですし、「悩みを持っている」と言えば、悩んでいる「状態にある」ということです。(…みなさんも頭の体操で、他にも考えてみて下さい)</p> <p>このように、それぞれの言語には、日常よく使われる言葉が多くの意味を持つことがあります。だから逆に、それだけ重要な言葉だと言えます。「マネジメント」は、「経営」とか「管理」などと訳されることが多いのですが、物事を上手く進めていくこと、何とか切り抜けていくことなど、重要な意味もあります。</p> <p>そこで、強いて「マネジメント」という言葉の意味を大きくまとめると「問題を見つけ、それを解決していくこと」と言えるのではないかとボクは考えています。ボクたちは生きていく中で、色々な問題に出会いますよね。だからこそ、それを解決する力を身に付けることって、とても大切なことだとボクは思っているのです。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等)					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (3 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など					
開設大学への交通手段	https://www.heisei-u.ac.jp/info/map/ でご確認ください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。